



Cisco IP Phone のハードウェア

- [電話機の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco IP Phone 8811 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco IP Phone 8841 および 8845 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco IP Phone 8851 \(5 ページ\)](#)
- [Cisco IP Phone 8861 および 8865 \(6 ページ\)](#)
- [ボタンとハードウェア \(8 ページ\)](#)
- [用語の相違点 \(11 ページ\)](#)

電話機の概要

Cisco IP Phone 8811、8841、8845、8851、8861、および 8865 は、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク経由の音声通信を提供します。Cisco IP Phone は、デジタルビジネスフォンとほぼ同様に機能し、コールの発受信に加えて、ミュート、保留、転送、短縮ダイヤル、コール転送などの機能を使用できます。また、データネットワークに接続するため、IP テレフォニー機能が拡張され、ネットワーク情報やサービス、およびカスタマイズ可能な機能やサービスにアクセスできるようになります。

Cisco IP Phone 8811 には、グレースケールの LCD 画面が搭載されています。

Cisco IP Phone 8841、8845、8851、8861、および 8865 には、24 ビットのカラー LCD 画面が搭載されています。

Cisco IP Phone の機能は次のとおりです。

- 最大 10 回線をサポートするプログラム可能な機能ボタン。このボタンには他の機能をプログラムすることもできます。
- ギガビットイーサネット接続機能
- ワイヤレスヘッドセット用 Bluetooth のサポート (Cisco IP Phone 8845、8851、8861、および 8865)
- 外部マイクおよびスピーカーのサポート (Cisco IP Phone 8861 のみ)
- Wi-Fi によるネットワーク接続機能 (Cisco IP Phone 8861 および 8865)

- USB ポート :
 - Cisco IP Phone 8851 用 USB ポート X 1
 - Cisco IP Phone 8861 および 8865 用 USB ポート X 2
- 最大 3 台のキー拡張モジュールをサポート :
 - Cisco IP Phone 8851 は 2 台のキー拡張モジュールをサポート
 - Cisco IP Phone 8861 は 3 台のキー拡張モジュールをサポート

Cisco IP Phone は、他のネットワーク デバイスと同様に設定と管理を行う必要があります。これらの電話機は、以下のコードでエンコードおよびデコードされます。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G.722.2/AMR-WB
- G.729a/G.729ab
- iLBC
- OPUS
- iSAC

Cisco IP Phone は、コール転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、電話会議、ボイスメール システムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco IP Phone では、さらにその他の各種の機能も提供します。

Cisco IP Phone は、他のネットワーク デバイスと同様に、サードパーティ コール制御システムおよび IP ネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCP を使用すると、電話機上で設定する内容が少なくなります。ただし、ネットワークで必要な場合は、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ/セカンダリ DNS サーバなどの情報を手動で設定できます。

Cisco IP Phone は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、サードパーティ コール制御システムを社内の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザが同僚の連絡先情報を IP フォンから直接検索できるようになります。

Cisco IP Phone を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP Phone を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。また、コールを送受信する前に、Cisco IP Phone をサードパーティ コール制御システムに登録する必要があります。

さらに、Cisco IP Phone はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を IP Phone から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP Phone を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、現在のコールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。

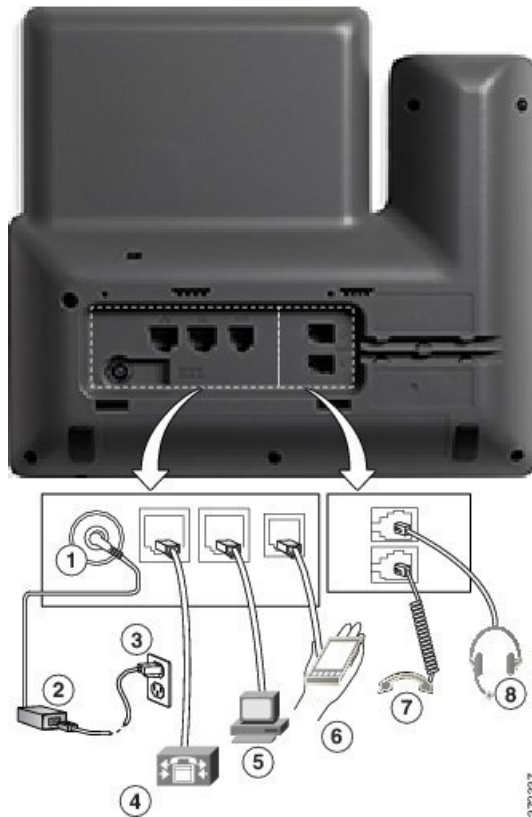


注意 セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP Phone のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP Phone 8811

電話機の接続

次の図を参照して、組織の IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DCアダプタポート (DC48V)。	5	アクセスポート (10/100/1000 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワークポート (10/100/1000 SW) 接続IEEE 802.3at 電源対応	8	アナログヘッドセット接続 (任意)



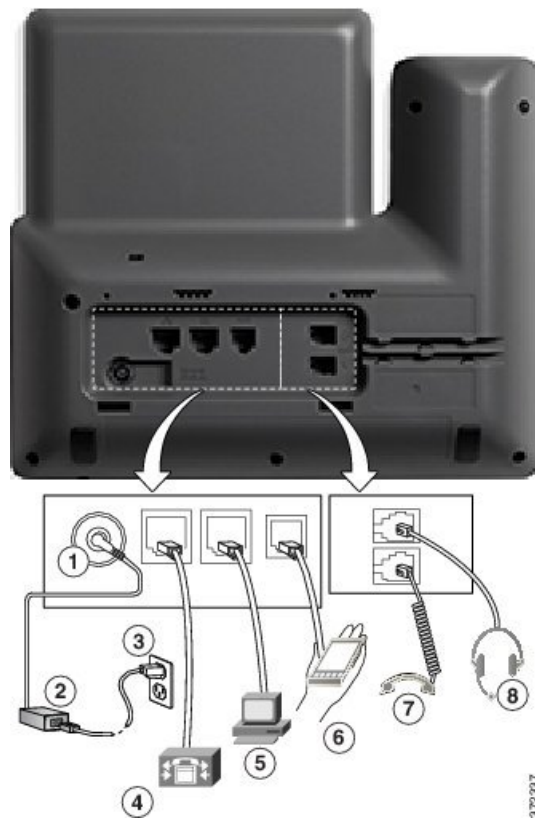
(注) Cisco IP Phone 8811 は、キー拡張モジュールをサポートしていません。

Cisco IP Phone 8841 および 8845

次のセクションでは、Cisco IP Phones 8841 および 8845 の属性について説明します。

電話機の接続

次の図を参照して、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接 続
2	AC-DC 電源装置 (任 意)	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続

4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接 続IEEE 802.3at 電源対 応	8	アナログヘッドセット 接続 (任意)
---	--	---	-----------------------

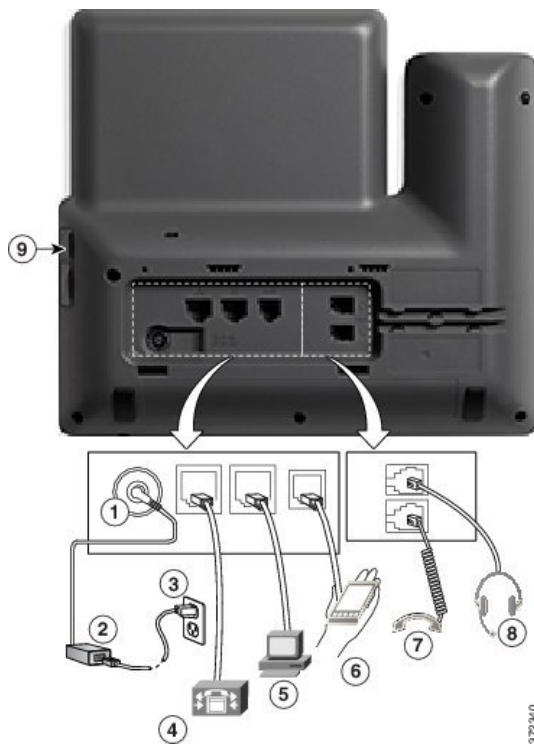


(注) Cisco IP Phone 8841 および 8845 はキー拡張モジュールをサポートしません。

Cisco IP Phone 8851

電話機の接続

次の図を参照して、企業の IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	補助ポート
2	AC-DC 電源装置 (任意)	7	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (任意)	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続IEEE 802.3at 電源対応	9	USB ポート

5	アクセスポート（10/100/1000 PC）接続		
---	---------------------------	--	--



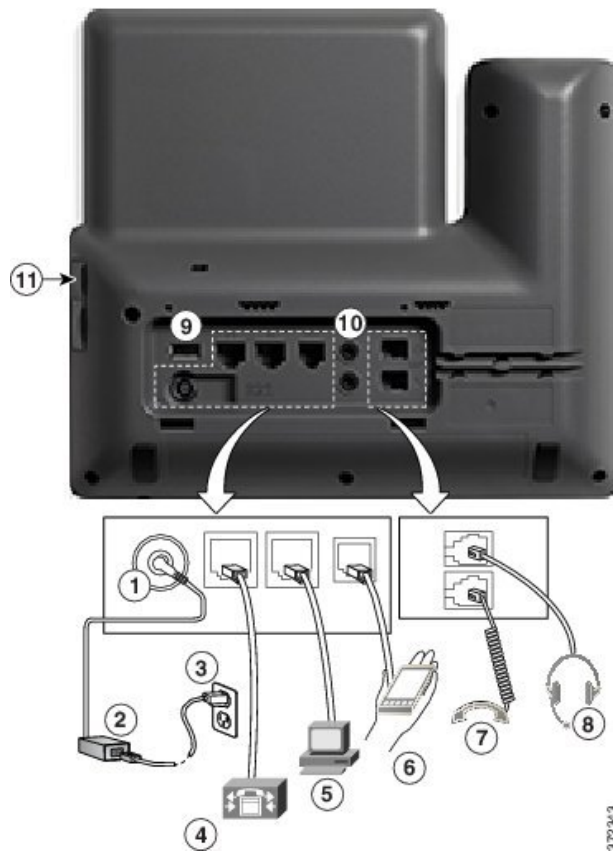
- (注) 各 USB ポートは、最大 5 台のサポート対象デバイスおよび非サポートデバイスの接続をサポートしています。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス（たとえば 2 台のキー拡張モジュール、1 台のヘッドセット、1 台のハブ、および 1 台の別の標準 USB デバイス）を側面ポートでサポートできます。第三者製の USB 製品の多くは複数の USB デバイスとしてカウントされる場合があります。たとえば、あるデバイスに USB ハブとヘッドセットが含まれる場合は 2 台の USB デバイスとして扱われることがあります。詳細については、USB デバイスのマニュアルを参照してください。

Cisco IP Phone 8861 および 8865

次のセクションでは、Cisco IP Phones 8861 および 8865 の属性について説明します。

電話機の接続

次の図を参照して、企業の IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	7	ハンドセットの接続
2	AC-DC 電源装置 (任意)	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)
3	AC 電源コンセント (任意)	9	USB ポート
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続IEEE 802.3at 電源対応	10	音声入力/出力ポート
5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続	11	USB ポート
6	補助ポート		



(注) 各 USB ポートは、最大 5 台のサポート対象デバイスおよび非サポートデバイスの接続をサポートしています。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス（たとえば 3 台のキー拡張モジュール、1 台のハブ、および 1 台の別の標準 USB デバイス）を側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます。第三者製の USB 製品の多くは複数の USB デバイスとしてカウントされる場合があります。たとえば、あるデバイスに USB ハブとヘッドセットが含まれる場合は 2 台の USB デバイスとして扱われることがあります。詳細については、USB デバイスのマニュアルを参照してください。

ボタンとハードウェア















Cisco IP Phone 8800 シリーズには、次に示す 2 つの異なるハードウェア タイプがあります。


- Cisco IP Phone 8811、8841、8851、および 8861：カメラなし
- Cisco IP Phone 8845 および 8865：内蔵カメラ付き

図 1: Cisco IP Phone 8845 のボタンおよびハードウェア



1	ハンドセットとハンドセットライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	カメラ Cisco IP Phone 8845 および 8865 のみ	ビデオ コールのためにカメラを使用します。

3	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	 電話回線、機能、コールセッションにアクセスできます。
4	ソフトキー ボタン	 機能およびサービスにアクセスできます。
5	[戻る (Back)]、ナビゲーションクラスタ、および [リリース (Release)]	<p>[戻る (Back)]  : 前の画面またはメニューに戻ります。</p> <p>戻るボタンを0.5秒以上押し続けると (長押し)、メイン画面またはコール画面に戻ります。設定画面では、長押しするとメイン画面に移動します。いずれかのコール画面では、長押しするとコール画面に移動します。</p> <p>ナビゲーションクラスタ  ナビゲーションリングと [選択 (Select)] ボタン: メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりできます。</p> <p>[リリース (Release)]  : 接続されているコールまたはセッションを終了します。</p>
6	[保留/再開 (Hold/Resume)]、[会議 (Conference)]、および [転送 (Transfer)]	<p>[保留/再開 (Hold/Resume)]  : アクティブコールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。</p> <p>[会議 (Conference)]  : 電話会議を作成します。</p> <p>[転送 (Transfer)]  : コールを転送します。</p>
7	[スピーカーフォン (Speakerphone)]、[ミュート (Mute)]、および [ヘッドセット (Headset)]	<p>[スピーカーフォン (Speakerphone)]  : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカーフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ミュート (Mute)]  : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯します。</p> <p>[ヘッドセット (Headset)]  : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているときは、ボタンが点灯します。</p>
8	[連絡先 (Contacts)]、[アプリケーション (Applications)]、および [メッセージ (Messages)]	<p>[連絡先 (Contacts)]  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>[アプリケーション (Applications)]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。</p> <p>[メッセージ (Messages)]  : ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします。</p>

9	[音量 (Volume)] ボタン	 ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量 (オフフック) および呼出音の音量 (オンフック) を調節します。
---	--------------------	--

メニュー操作

ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して、メニューをスクロールし、複数のフィールド間を移動します。ナビゲーションクラスタの内側の [選択 (Select)] ボタンを使用して、メニュー項目を選択します。






メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。


ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能を操作する方法がいくつかあります。

- スクリーンの下にあるソフトキーを押すと、スクリーンに表示されている機能を使用できます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。[次へ (More...)] ソフトキーは、さらに多くの機能が使用可能であることを示します。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。
 - 機能ボタン：[短縮ダイヤル (Speed dial)] や [コールピックアップ (Call pickup)] などの機能で使用します。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使用します。
 - 回線ボタン：コールの開始および応答や、保留中のコールの再開に使用します。回線キーを使用して、コールセッションウィンドウを開くことや閉じることも、およびコールセッション ウィンドウ内を移動することもできます。回線上のコールを表示するには、コールセッション ウィンドウを開きます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

-  緑：回線がアイドル状態です。
-  赤、点灯：回線がアクティブ状態または使用中です。
-  赤、点滅：回線が保留中、または着信コールがあります。

-  オレンジ、点灯：回線が未登録です（使用できません）。

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハード ボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

用語の相違点

次の表に、『Cisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム フォン *User Guide*』および『Cisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム フォン *Administration Guide*』で使用される用語の違いを示します。

表 1:用語の違い

ユーザ ガイド	アドミニストレーション ガイド
回線ステータス	ビジー ランプ フィールド (BLF)
メッセージ インジケータ	メッセージ受信インジケータ (MWI) またはメッセージ受信ランプ
プログラム可能な機能ボタン	プログラム可能なボタンまたはプログラム可能な回線キー (PLK)
[簡易化された新しいコール (Simplified New Call)] ウィンドウ	[簡易化された新しいコール (Simplified New Call)] バブル
ボイスメール システム	ボイス メッセージ システム

